

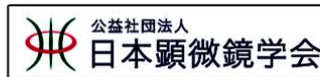
# 第29回 電顕サマースクール 2018 in 信州松本

生物の電子顕微鏡試料作製法を理解しよう  
 =クライオから3次元コンピュータグラフィックスまで=

開催日： 2018年 8月4日（土）～ 8月5日（日）

会場： 信州大学医学部地域保健推進センター  
 （信州大学松本キャンパス内）

主催： 公益社団法人 日本顕微鏡学会



実行委員長 寺田 信生 （信州大学）  
 副実行委員長 高木 孝士 （昭和大学）



(信州松本パンフレットより)

## 講演内容

- |                            |          |            |
|----------------------------|----------|------------|
| 「動物試料の固定・脱水・包埋」            | 立花 利公 先生 | （東京慈恵医科大学） |
| 「包埋試料の超薄切片作製から透過型電顕観察へ」    | 高木 孝士 先生 | （昭和大学）     |
| 「生きた動物臓器の機能形態像を探る：凍結技法の意義」 | 大野 伸一 先生 | （山梨大学名誉教授） |
| 「クライオ電顕の試料作製とデータ解析」        | 小田 賢幸 先生 | （山梨大学）     |
| 「走査型電顕による生物試料の3次元超微形態解析」   | 大野 伸彦 先生 | （自治医科大学）   |
| 「イオン液体の生物電顕試料への応用」         | 桑畑 進 先生  | （大阪大学）     |
| 「標的物質の局在を電顕で見る包埋前染色法」      | 秋元 義弘 先生 | （杏林大学）     |
| 「抗原賦活化法と包埋後染色法」            | 山下 修二 先生 | （慶応大学）     |

## 協賛企業講演

- 「電子顕微鏡の概要」
- 「加速電圧の話」
- 「高圧凍結技法とクライオ薄切法」
- 「走査型電子顕微鏡の基礎から生物応用」
- 「低真空走査型電顕」
- 「光電子相関顕微鏡」

## 実習

専門スタッフが丁寧に教えます！

- 「固定法～包埋～超薄切～電子染色」
- 「急速凍結、生体内凍結技法、凍結置換固定法」
- 「連続切片走査型電顕試料の3次元データ解析」
- 「免疫電顕法・包埋前染色法」
- 「包埋後染色法・抗原賦活化法」

事務局  
 信州大学大学院医学系研究科  
 保健学専攻医療生命科学分野  
 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

くわしくはウェブサイト <http://microscopy.or.jp/summerschool/> をご覧ください。